

市長定例記者会見の概要(令和3年第3回市議会定例会ほか)

8月27日、14:00～、201会議室

令和3年第3回市議会定例会(9月2日に召集)について概要説明を行いました。
続いて下記項目を発表。

- 1 市民課窓口等でのセルフレジ及びキャッシュレス決済の導入について
- 2 胃部内視鏡検診の開始について
- 3 拡充型放課後子ども教室のモデル実施について
- 4 妊婦を対象とした新型コロナウイルスワクチンの優先接種について
- 5 電子図書館専用の臨時利用者ID等の発行について
- 6 市立小中学校の全児童・生徒への学校用たちかわ電子図書館利用カードの配布について

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）

立川市総合政策部広報課

発表項目	市民課窓口等でのセルフレジ及びキャッシュレス決済の導入について
【概要】 <p>立川市では、市民課窓口等における証明書交付手数料の収納について、職員を介した現金決済に代えて、セルフレジ及びキャッシュレス決済を導入します。</p> <p>導入場所は、市民課と窓口サービスセンターの2箇所とし、対象は、住民票の写し、戸籍証明書、印鑑登録証明書、課税非課税証明書等となります。</p>	
【事業費（案）】 <ul style="list-style-type: none">・ 令和3年度9月議会 補正予算 818,000円・ セルフレジのリース料と保守委託料は、5年間の長期継続契約	
【事業期間 or 開始時期】 <p>令和4年1月～ セルフレジを導入 令和4年4月末～ キャッシュレス決済を導入</p>	
【PRポイント】 <ul style="list-style-type: none">・ 手数料収納時の接触機会減少による新型コロナウイルス感染防止・ 決済方法の拡大による市民サービスの向上 →電子マネーやクレジットカードによる決済、スマートフォンを利用したQRコード決済が可能となります。・ デジタル化の推進及び事務の効率化	
※今議会で関係する議案・報告委員会：総務委員会にて報告	
添付資料	無
問い合わせ先	市民生活部市民課長 小出 玲子 電話：523-2111（内線）1130

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）
立川市総合政策部広報課

発表項目	胃部内視鏡検診の開始について																			
【概要】																				
	<p>胃・大腸・肺がん検診の推移</p> <p>令和元年度まで：公共施設での検診車による集団検診 令和2年度：医療機関での個別検診も可能 令和3年度から：医療機関での胃部内視鏡検診も選択可能</p> <p>令和3年10月から胃の内視鏡検査を開始</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エックス線検査</th> <th>内視鏡検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>40歳以上</td> <td>50歳～74歳</td> </tr> <tr> <td>受診間隔</td> <td>1年に1回</td> <td>2年に1回</td> </tr> <tr> <td>受診費用</td> <td>1,200円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>検査方法</td> <td>バリウムを飲み レントゲン撮影</td> <td>胃カメラで 胃の中を直接観察</td> </tr> <tr> <td>検査場所</td> <td>市内医療機関での個別検診 公共施設での検診車集団検診</td> <td>市内医療機関での個別検診</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2年に1回の受診となる内視鏡検査の受診者数を平準化するため、令和3年度及び4年度の2か年度は偶数年齢の方を対象に実施します。</p>			エックス線検査	内視鏡検査	対象者	40歳以上	50歳～74歳	受診間隔	1年に1回	2年に1回	受診費用	1,200円	2,500円	検査方法	バリウムを飲み レントゲン撮影	胃カメラで 胃の中を直接観察	検査場所	市内医療機関での個別検診 公共施設での検診車集団検診	市内医療機関での個別検診
	エックス線検査	内視鏡検査																		
対象者	40歳以上	50歳～74歳																		
受診間隔	1年に1回	2年に1回																		
受診費用	1,200円	2,500円																		
検査方法	バリウムを飲み レントゲン撮影	胃カメラで 胃の中を直接観察																		
検査場所	市内医療機関での個別検診 公共施設での検診車集団検診	市内医療機関での個別検診																		
【事業費】	令和3年度当初予算 16,485,000円（胃部内視鏡検診）																			
【PRポイント】	<p>二重読影による精度管理</p> <p>検診で撮影した画像の読影は、二人の医師が別々に診断する二重読影により行い、一次読影は検診を実施した医療機関の医師が行い、二次読影は検診を実施した医療機関とは別の医療機関の医師が行います。</p> <p>読影システムの導入</p> <p>二重読影を支援する遠隔読影が可能なネットワーク型のクラウドシステムを導入し、実施医療機関及び医師会事務局、健康会館に専用端末機を設置します。</p> <p>※ 今議会で関係する議案・報告委員会 委員会報告：9月21日（火）厚生産業委員会</p>																			
添付資料	有 無																			
問い合わせ先	福祉保健部 健康づくり担当課長 田村 信行 電話：523-2111（内線）4710																			

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）

立川市総合政策部広報課

発表項目	拡充型放課後子ども教室のモデル実施について	
<p>【概要】</p>		
<p>放課後子ども教室は、小学校の校庭や体育館などを活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する事業。現在、市内全校（19校）で実施しています。</p>		
<p>拡充型放課後子ども教室は、事業者に委託し、夏休み等の長期学校休業日も含め平日毎日開催を実施し、子どもの居場所を確保するものです。令和4年4月から、第二小学校、大山小学校、松中小学校の3校でモデル実施を開始します。</p>		
<p>①実施日</p> <p>②休日</p> <p>③実施場所</p> <p>④実施時間</p> <p>⑤対象者</p> <p>⑥登録料</p>	<p>平日は年間を通して毎日実施</p> <p>土日祝日、年末年始、学校行事等で学校施設の使用ができない日など</p> <p>放課後等の学校施設を利用（校庭、体育館、特別教室など）</p> <p>登校日：放課後から17時15分まで</p> <p>休業日：9時から17時15分まで</p> <p>※ いずれも10月～2月は16時30分まで</p> <p>実施校に在籍している児童及び学区内に居住している児童のうち事前登録をした児童</p> <p>年額1,000円</p>	
<p>【「現行の放課後子ども教室」と「拡充型放課後子ども教室」の違い】</p>		
<p>現行の放課後子ども教室</p>	<p>運営主体</p> <p>地域の方々等で構成される企画運営委員会が実施</p>	<p>実施日</p> <p>通常、給食がある日の放課後に実施（実施日は学校により毎日実施や月1回実施など違いがある）。</p>
<p>拡充型放課後子ども教室</p>	<p>事業者に委託し、地域の大人と連携して実施</p>	<p>夏休み等の長期学校休業日も含め、平日毎日実施。</p>
<p>【事業費（案）】</p>		
<p>19,770,000円（委託料）</p>		
<p>【PRポイント】</p>		
<p>事業者委託による拡充後も、地域住民との交流活動を行う「地域交流デー」を設け、</p>		

現在の事業の特色である地域の大人と子どもたちのふれあいを継続していきます。

※今議会で関係する議案・報告委員会：厚生産業委員会にて報告

添付資料	無
問い合わせ先	子ども家庭部子ども育成課長 竹内 佳浩 電話：５２３－２１１１（内線）１１１０

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）
立川市総合政策部広報課

発表項目	妊婦を対象とした新型コロナウイルスワクチンの優先接種について
【概要】	<p>新型コロナウイルスの感染予防、重症化予防のため、また安心して妊娠期を過ごすことができるよう、ワクチン接種を希望する妊婦およびそのパートナーを対象にワクチン接種の機会を設けます。</p> <p>(1) 対象 妊婦（原則、市内産婦人科医療機関に通院している妊婦とし、住民票の所在要件に依らない）およびそのパートナー</p> <p>(2) 接種方法 妊婦健診時等に通常の予約枠とは別に接種可能な機会を設定</p> <p>(3) 接種医療機関 井上レディースクリニック 立川相互病院 永井産婦人科病院</p> <p>(4) 開始日 令和3年8月25日（水）</p> <p>※ 今議会で関係する議案・報告委員会 9月21日（火）厚生産業委員会</p>
添付資料	有 無
問い合わせ先	福祉保健部 健康づくり担当課長 田村 信行 電話：523-2111（内線）4710

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）
立川市総合政策部広報課

発表項目	電子図書館専用の臨時利用者ID等の発行について
<p>【概要】 コロナ禍において外出を自粛されている方や自宅で療養されている方に対し、「図書館資料利用カード」を持っていない方に、電話にて「たちかわ電子図書館」を利用できる電子図書館専用の臨時利用者ID、パスワードを発行します。</p> <p>【事業費】 なし</p> <p>【利用開始日】 令和3年8月27日（金）～</p> <p>【PRポイント】 通常は、図書館に来館し、図書館カードを作成しなければ利用できない「たちかわ電子図書館」を、9月30日（木）までの期間限定で利用できます。 自宅のパソコンやスマートフォンで気軽に読書を楽しむことができます。</p> <p>現在の電子図書館蔵書数 3,860点 9月1日時点 4,530点 今後の蔵書予定数（令和4年3月末） 5,500点</p>	
添付資料	有 無
問い合わせ先	教育部 図書館長 池田 朋之 電話：528-6800（内線）4840

定例記者会見発表資料

令和3年8月27日（金）
立川市総合政策部広報課

発表項目	市立小中学校の全児童・生徒への学校用たちかわ電子図書館利用カードの配布について
<p>【概要】 市立小中学校に通う児童・生徒が1人1台タブレットPCで「たちかわ電子図書館」を利用し、読書・学習機会を得られるよう、学校用に電子図書館専用の利用カードを配布します。</p> <p>【事業費】 令和3年6月議会 補正予算 6,375千円 内訳 ・電子書籍コンテンツ代 6,000千円(約1,200コンテンツ) ・利用カード作成代 375千円</p> <p>【利用開始日】 令和3年9月10日以降順次</p> <p>【PRポイント】 図書館に来館しなくても本(電子書籍)を借りることができる「たちかわ電子図書館」事業において、児童・生徒向けの電子書籍の拡充をすすめるとともに、立川市立の小学校及び中学校に在籍する児童・生徒 約12,400人に電子図書館専用の利用カードを配布します。これにより、全児童・生徒が読書や調べ学習等に電子図書館にアクセスし、利用することが可能となります。</p> <p>現在の児童・生徒向け電子図書館蔵書数 1,800点 9月1日時点 2,470点 児童書の種類： 学習支援に役立つ図鑑・歴史・地理・文学・絵本・ライトノベル等</p>	
添付資料	有 無
問い合わせ先	教育部 図書館長 池田 朋之 電話：528-6800 (内線) 4840